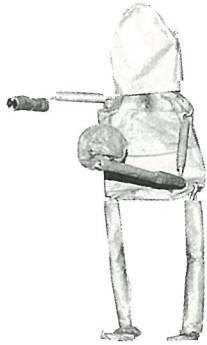


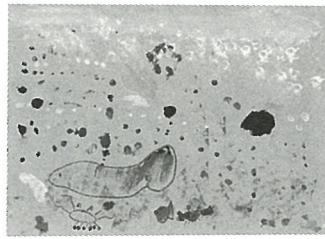


4年 佐久間大樹くん



『ハンドベースボールをしているぼく』

※体育のハンドベースボールが楽しかったので、やっていたところを作りました。



『うみのなか』



1年 古川 佳史くん

※ゆびにえのぐをつけてペタンペタン。楽しい海の中の絵がかけてました。

あつまれみんなの力作



『わたしのリュック』

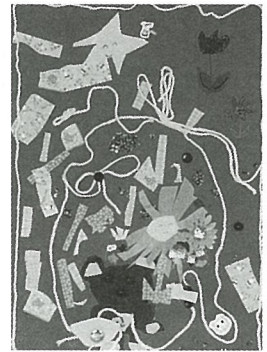


5年 伊藤真利菜さん

※一針一針、ていねいに心をこめてぬいませました。糸や針の使い方も慣れました。



2年 石田 結花さん

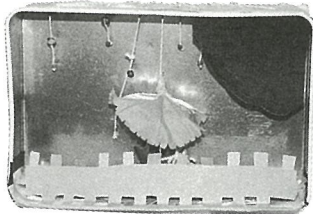


『ふしぎなポケット』

※くまのポケットから、いろいろなものとび出した楽しい作品です。



6年 鈴木 絵美さん



楽しい動き『雨』

※雨が傘の上に着る様子にイメージしました。苦労を重ねた作品です。



『カラフルペンギン』



3年 土屋 静代さん

※ペンギンの頭につけたりボンを作るころがむずかしかったです。



ひかり俳壇



山崎 てい (二又) 娘の丈の美しく伸びゆく葉鶏頭

川島 重一 (尾垂) 風起ちてかまつかの揺れ絵にならず

伊藤 幸枝 (尾垂) かまつかの如く齡重ねたし

水須ゆき子 (橋場) 秋天やキリンの四肢が踏む大地

越川せつ子 (篠本) 捨て水をバサとかけられ葉鶏頭

椎名 静子 (二又) 体育日どこも留守なり送話器置く

大谷 武彦 (木戸) 慰霊碑を見守り咲きし葉鶏頭

鈴木とし子 (宝米) 葉鶏頭夕日集めてなお燃ゆる

伊藤 雅子 (尾垂) 昨夜の雨去りて艶めく葉鶏頭

布施喜美雄 (二又) 秋深し起つも座るもドッコイショ

短評 椎名しげる

評者吟 かまつかや古典となりぬ鹿鳴館